

2007 年 1 月 19 日

各 位

株式会社みずほ銀行

インターネット対応の次世代ファームバンキングソフトの取扱開始

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山 清次）は、インターネットを介して高速にデータ授受がおこなえる次世代ファームバンキングソフトを、株式会社オービックビジネスコンサルタント（社長：和田 成史） 松下電器産業株式会社（社長：大坪 文雄）の協力を得て開発し、2007 年 5 月より邦銀で初めて提供を開始する予定です。企業からインターネットを介して、データ授受するシステムは、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（社長：浜口 友一：以下 NTT データ）が 2007 年 5 月にサービス開始予定の新プラットフォーム VALUX サービスを利用します。

従来のファームバンキングソフトは、データ通信に低速な公衆回線を利用していることからデータの授受に時間がかかりましたが、次世代ファームバンキングソフトでは、インターネットを介することにより従来比高速なデータの授受が可能となります。また、インターネットバンキングでマルチバンク取引を行なう場合は各金融機関で操作画面が異なりますが、次世代ファームバンキングソフトを利用することにより統一された操作画面でのマルチバンク取引が実現できます。

次世代ファームバンキングソフトは、従来のファームバンキングソフトの操作性の良さに魅力を感じながらもデータの送受信速度に不満を感じていたお客さまにご利用いただくことを想定しております。

なお、今回提供する次世代ファームバンキングソフトは、残高照会・入出金明細照会・振込振替・総合振込・個人住民税一括納付等の基本的な取引がおこなうことができるソフト（オービックビジネスコンサルタントと開発）と、当行・他行口座間の資金管理をリアルタイムでおこなうことができる資金管理ソフト（松下電器と開発）の 2 種類を予定しております。

今後、みずほ銀行では、最新の技術を取り込みながら新しい銀行サービスの開発を進め、お客さまになお一層ご満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。

以 上